



複数台のEVへの充電量をかしこく制御。 電気料金を抑えた運用が可能です！

導入しやすい

3つの理由

1

電力コストを節減

かしこい電力配分で電力契約の大幅変更が不要。

2

選べる設置タイプ

1台毎の壁掛型充電器や、
3台分を集約した自立型充電器など
設置環境に合わせて選びいただけます。

3

導入計画が立てやすい

独立分散制御で後々の増設対応が簡単。
さらに、クラウドで課金サービスに連携可能。

シングルモデル



トリプルモデル



■従来型充電システムの場合

接続した順番で充電

後から接続した車は充電自体ができない場合がある

充電開始順 1



充電開始順 2



充電開始順 3



接続しても
充電されません

カワムラ
×
JAXA
のテクノロジー



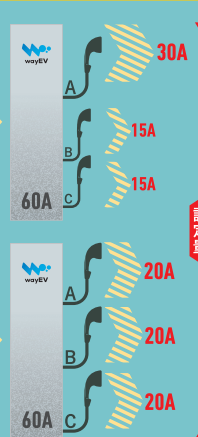
一定距離を走行できるぶんを**設定**することで、たくさんの車両が充電可能になると同時に、電気の使いすぎを抑制します。

■wayEVの場合

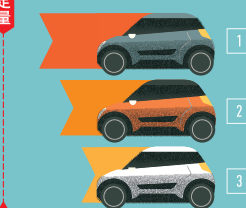
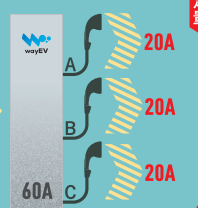
制御条件に基づく優先順位に応じて充電

一定距離を走れる量まで優先して充電する

先行優先モード



均等割振モード



比較条件：充電器の充電総容量：60A (200V) / 充電器の充電電流値：30Aの場合

その他、契約電力内に抑える「デマンド制御」や1時間単位の「スケジュール制御」など、事業に合わせて運用コストを大幅に削減できる機能を搭載。

詳しくは
Webへ

